

## 第7回白河市複合施設基本設計検討委員会 議事要約

- 1 日 時 令和4年3月28日(月) 13:30~15:00
- 2 場 所 白河市役所本庁舎 5階 正庁
- 3 出席者
  - 委員長：市岡 綾子 (日本大学工学部 専任講師)
  - 副委員長：藤田 龍文 (株式会社楽市白河 取締役副社長)
  - 委員：青砥 和希 (一般社団法人未来の準備室 理事長)
  - 浅川 なおみ (白河市公民館運営審議会 副会長)
  - 大住 由香里 (公募)
  - 徳田 芳江 (白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 委員)
  - 平久江 勝志 (白河市消防団 白河方面隊長)
  - 牧田 恵 (NPO 法人子育て環境を考える虹の会 副理事  
白河市ファミリーサポートセンター 長兼アドバイザー)
  - 村越 美穂子 (白河市健康づくり推進協議会 会長)
  - 事務局：鈴石 市長公室長、深町 参事兼企画政策課長、仁平 地域拠点整備室長、  
八巻 主任主査兼係長、穀田 副主査  
原 建築住宅課長、松川 課長補佐兼係長、山本 主査
  - その他：(株)石本建築事務所(富宇加、三井、弓削、荒井)
- 4 次 第
  1. 開 会
  2. 議 事
    - (1) 基本設計中間案及びパブリックコメントの実施について
    - (2) その他
  3. 閉 会

## <議事概要>

### 【委員長】

(1) 基本設計中間案及びパブリックコメントの実施について、事務局から説明をお願いします。

### (1) 基本設計中間案及びパブリックコメントの実施について

(基本設計スケジュール(予定)、市民会館跡地における複合施設整備基本設計中間案、パブリックコメント周知チラシ、中間案説明会周知チラシにより事務局及び(株)石本建築事務所が説明)

### 【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

### 【委員】

地方の人はできるだけ入口に近い場所に車を停めたい意識が非常に強いと思っています。高齢者や子ども連れの方などは、特にそうだと思います。立体駐車場も含めて全体で駐車台数が確保されているのは分かりますが、できるだけ近い位置に駐車したがる傾向があります。

景観も大事でしょうが、車を停めるスペースも大事だと思っている方はいるはずです。そういった質問が出た場合には、どのように回答する考えでしょうか。

### 【事務局】

学識経験者である委員などからは、新しい白河の顔となる市民が集まる施設なので、迎え入れる1階入口が駐車場で埋め尽くされることについては、もう少し工夫した方がよいのではないかという意見がありました。また、景観上の観点からも今回は、広場として提案をいたしました。

全体的には、本庁舎の北側エリアの面的整備、南側エリアに整備予定の立体駐車場、複合施設の敷地で、基本計画で試算した必要数の約300台は確保できる見込みです。今回の案はあくまで中間案ですので、委員のご意見やパブリックコメントで出される意見等も含めて検討し、施設の正面にも駐車場が必要だということになれば見直しを検討する可能性もあります。

### 【委員】

施設から離れた場所に大きな駐車場があっても、現実的には、そこに駐車して歩くということなかなか難しいところがあります。どうしても近くの駐車場に車を停めてしまうため、ガードマンを配置して駐車させないようにするなどの対応が必要になるので、この複合施設では同じにならないようにしてほしいと思います。

全て広場にしてほしいとか、駐車場にしてほしいと言っているわけではありません。目算ですが30台程度確保できる大きなスペースだと思いますので、仮に広場として使うのであれば、エリアを区切って、イベントなどの際に市民に貸し出せるようにすると良いと思います。

**【事務局】**

いただいたご意見を踏まえて今後検討していきたいと思います。

**【委員】**

一方で、この施設を利用される方全員が施設正面に車を停めることは、施設規模からしても、物理的にも不可能だと思います。現状も全く同じで、市役所を利用される方全員が正面の駐車場に停めることは不可能なので、臨時駐車場や南側の駐車場に停めているのだと思います。

このような現状の利用方法を見ていて、最も利用しやすい位置の駐車場が先着順で利用されることが、設計思想のところに記載されている「柔らかく包み込む包容力」や「多様な価値観と共生する寛容性」などの理念に、合致するのかどうかを考えなければならぬと思います。

駐車場を正面に配置すれば、当然、景観や広場としての活用可能性に影響を及ぼすと思いますが、本当に必要とする方がそこに停められないというのは、たとえその施設全体で台数が確保されているとしても、そもそも公共施設という性格にマッチしないと思います。もう少し力強いメッセージとして、この場所は本当に必要とされている方のためのスペースだということについて、検討されるといいと思います。

いずれにしても利用者全員が近くに停められないということは分かっていることなので、そのように考えます。

**【事務局】**

庁内の検討会議においても、例えばハンディキャップを持った方や妊娠している方などが利用する「思いやり駐車場」の配置については、配慮が必要だという意見もありました。ただ今の意見も踏まえて引き続き検討してまいります。

**【委員】**

5分程度で用事が終わる方と長時間利用される方で区別が必要なのだと思います。例えば、長時間利用する方は立体駐車場に停めていただくなど運用面での検討が必要だと思います。

思いやり駐車場に指定しても、元気な方が利用してしまうことが非常に多いです。良識に任せるしかないとは思いますが、ハンディキャップを持った方のための駐車場であるということをもう少し自覚してもらいたいと思っています。

**【委員】**

私も元気な方が思いやり駐車場を利用してしまうシーンをよく見ます。そこまでは必要ないとは思いますが、例えば、ハンディキャップを持った方が優先的に使えるように駐車証みたいなものを配付するとか、見回りをするしかないのかなという思いがあります。

もう一点お聞きしたいのですが、立体駐車場は無料でしょうか。

**【事務局】**

結論には至っておりませんが、内部的には有料化も含めて検討していく考えです。

ただし、有料化による効果やそれに伴って必要となる設備の導入コストと維持管理費、

また、予想される駐車料金の収入等を含めて総合的に勘案して検討を進めていきます。

#### 【委員】

官民連携機能についてですが、具体的にどんなカフェが来るのかとか、どんなコンビニが入るのかという質問が出た場合には、どのような回答をされるのでしょうか。

また、平面計画には前回委員会で出たテラスの拡張が反映されておりますが、外観イメージには反映されていないので、パブリックコメントの実施までに一致させた方が良いと思います。

#### 【委員長】

テラスの件ですが、今回のイメージ図はアイレベルの高さで描かれておりますので、視覚的に分かりづらいとは思いますが、正しく反映されており、影を見ていただければ張り出しているのが分かると思います。

#### 【事務局】

まず、店舗等ですが、ここはテナント方式で検討を進めております。これまでの委員会でも説明しましたが、コンビニエンスストア大手数社の本部の開発担当者と意見交換を実施いたしました。いずれも本部直営方式は行っていないとのことで、可能性があるのは、地元のオーナーさんがそこに店を出すというフランチャイズ方式だそうです。今後は、公表できる図面が準備できたら再度意見交換をするということになっておりますので、この資料が公表された段階で、開発担当者と再度協議をし、今後の進め方を検討していきたいと考えています。

カフェについては市民の方から必須だというご意見が多いので、現段階での基本的な考え方ですが、ここはテナント方式ではなく官民連携事業として、どういう条件を整えれば、カフェが導入できるのかということを整理しながら、民間事業者と協議を進めていくという方針です。

大きな方向性としては以上ですが、同じ施設にコンビニエンスストアが入った場合にカフェが成り立つのかという課題もありますので、コンビニエンスストアの条件を整理しつつ考えていきたいと思っております。

#### 【委員長】

そのようなニーズを探るチャンスにもなるかもしれませんので、パブリックコメントの機会にこの図面を見て、やってみたいという方が現れることを期待するところです。

今のお話だと、2階の官民連携機能については、当てがあるということでしょうか。

#### 【事務局】

おしごとサポートステーションと女性ワークスペースについては、令和3年度から実証実験として実施している「女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業」の中で、連携している事業者がおります。また、昨年7月のサウンディング調査でも手を挙げている事業者がありましたので、実現可能性が高いものと認識しております。ただ、託児スペースについては、民間団体も含めて担い手はいるものの、具体的に手を挙げていたただけような団体と協議できていない状況です。

この複合施設で子連れ相談や子連れ健診などの「子連れ〇〇」ができると良いという意

見がございます。さらに、その日に急な用事が入ったときに利用できる託児サービスのニーズが高いということは、実証実験の中でも把握しております。これまで視察をしてきた施設でも基本的には前日までの予約がないと対応できないということでしたので、この辺が課題となっております。このようなニーズには、どのような仕組みであれば対応できるのかということも含めて、手を挙げていただけそうな民間団体と協議していきたいと思っています。

#### 【委員】

3月16日に地震がありましたので、建物の構造や耐震性能について市民は聞きたいのではないのでしょうか。地盤など条件が全く違うので比較はできないのですが、県中の文化センターは、令和3年2月の地震による復旧工事が完了し、今年1月に再オープンしたばかりでしたが、先日の地震でまた休館となってしまったようです。

こういった構造や地震への対策についても、パブリックコメントに盛り込んだ方がよいのではないのでしょうか。

#### 【株式会社建築事務所】

この複合施設については、重要度の高い建物の耐震性を高めるために考慮する係数である重要度係数を「1.25」として建物をつくっていくことになっておりますので、耐震性能に優れた施設として計画を進めているところです。

#### 【事務局】

今回の施設は避難施設の機能も担うこととなりますので、耐震性能については1.25倍とする計画です。ただ、1.25倍は絶対に破損しないというわけではなく、大きな補修をすることなく使用することができるという基準です。

今後、設計作業を進め、最終的には、この基本設計の中で建物の安全性についても示していく予定になっております。

#### 【委員長】

パブリックコメントの資料の中には、耐震性などについては述べていませんが、質問があれば今のようにお答えするということだと思います。

完成したものではなく中間段階でのパブリックコメントを実施して、市民に意見を伺うプロセスを経ることは珍しいと思いますが、それだけ市としても市民の意見を大事に取り入れたいという意思の表れと思われしますので、皆さまもお近くの方にお伝えしていただきますようお願いいたします。

外観や内観デザインについては、初めて示された内容ですので、何か後からお気づきになった点がありましたら、事務局へお伝えいただければと思います。

## (2) その他について

#### 【市岡委員長】

続きまして(2)その他について、皆様から何かございますか。

**【委員】**

第1回委員会の際に地質調査について質問したところ、今後実施しますという回答でした。いつ実施して、どのような結果だったのかお聞きしたいと思います。

**【事務局】**

地質調査業務については先日発注をしたところですが、今後、敷地内でボーリングを行い、どのような地質であるかを調べて、その地盤に見合った基礎を設計していくこととなります。

**【委員】**

当時の市職員から、市民会館の敷地は谷津田川が近いので掘ると水が多く出てくるとのことで、その水の影響で地盤が弱いということをお聞きしました。この件については、ご存じでしょうか。

当時の市民会館と図書館も通路で繋がっていましたが、図書館側の被害が大きかったものの、市民会館側の被害はあまりありませんでした。今回も本庁舎と複合施設を繋ぐということですが、より離れている古い建物と新しい建物を繋ぐということに安全上問題はないのでしょうか。

立体駐車場についても同様です。よく地質調査をしていただきたいと思います。

100年に1度と言われていたことが、この10年で3回も起こっていますので、いつでも起きるということをお聞きしながら、この10年でも起こっていることを頭のなかに入れておくべきだと思います。つくってしまってからでは遅いと思っています。

市民会館があった場所に建てるということをお聞きしながら、以前に勤めていた方や担当だった方によくお話を聞きながら、進めていただきたいと思っています。

**【事務局】**

今回の地質調査においても、地下水位の高さや地層の状態を調べ、それに見合った基礎の工法を選定します。

旧市民会館については、解体の際に、地下部分を一度掘り起こして埋めておりますので、地下部分の状態を理解しておりますし、今回は地下室のようなものは想定しておりませんので、地下を深く掘ることは考えておりません。機械類についても、避難施設の機能を備えますので地上への配置を検討しております。

また、市役所本庁舎と複合施設を繋げるということですが、完全に繋げると一体的な建物となり、法的な基準に適合するのかがどうか検討する必要があります。例えば、一部切り離す方法もありますので、利便性やコスト面なども含めて総合的に検討していきたいと思っています。

立体駐車場の敷地についても、地質調査を行ってございまして、それについても基礎の工法、構造から安全が確保できるように計画していきます。

設備についても、地震時における安全性を確保する考えでおります。

**【委員】**

地質調査の結果を広報紙などに掲載して、安全であるということを確認して建設しますということが示されれば安心だと思います。

また、いつ調査をして、どのような結果であったのかについて、この委員会に示されるのはいつ頃になるのか皆さんにお知らせすべきだと思います。

**【事務局】**

基本設計においても地質調査に基づいた基礎の考え方を明示する予定となっております。7月頃には、このような地盤になっているので、このような基礎の工法で計画したいということを示すことができると思っております。

**【株石本建築事務所】**

ボーリング調査を実施して、支持地盤が一番深そうな場所のものを採用し、それを反映させた基本設計を納めるのが7月頃になる予定です。

全ての箇所の地質調査の結果については、最終的に実施設計の作業で反映させていくこととなります。

**【事務局】**

建物の全ての仕様が決まってはじめて建物の総重量が固まりますので、それに応じた基礎設計については、実施設計の中で行っていきます。

**【委員】**

7月頃には中間報告でも構わないので、説明をよろしくお願ひしたいと思います。

また、複合施設と本庁舎を繋ぐということが曖昧なので、次回にはご説明をお願ひしたいと思います。

**【委員長】**

実は一番大事な確認事項とも思われますが、これから調査実施ですので想像ではお話しできないということだと思います。

基本設計検討委員会は7月までの予定ですので、この時までには触れられる部分については触れていただきたいという委員会の意見です。よろしくお願ひいたします。

**【事務局】**

それでは事務局からお願ひします。

**【事務局】**

次回の検討委員会の会議についてご連絡します。次回は、5月9日、月曜日、午後1時30分から、市役所4階の全員協議会室で開催いたしますので、日程の調整をお願ひいたします。

なお、中央に置いております模型は、会議終了後、ご覧いただければと思います。

また、3月19日に開催したワークショップの報告会の結果についてですが、参加者の皆さんからは、意見が反映されたということで内容についてはご納得いただいたと受け止めております。

**【委員】**

ワークショップ報告会に参加しましたが、高校生などが一生懸命やっていて驚きまし

た。白河のこれからは期待できるなと思いました。

**【委員長】**

ワークショップの資料については、市ホームページに掲載されているとのこと。その場所を使った様々な過ごし方が示されていて、とても素晴らしい作品だと思います。ぜひご覧ください。

それでは、私の役目はここで終了し、進行を事務局に戻します。皆様ありがとうございました。

**【事務局】**

それでは以上をもちまして、閉会とさせていただきます。委員の皆様には、長時間にわたり、ありがとうございました。